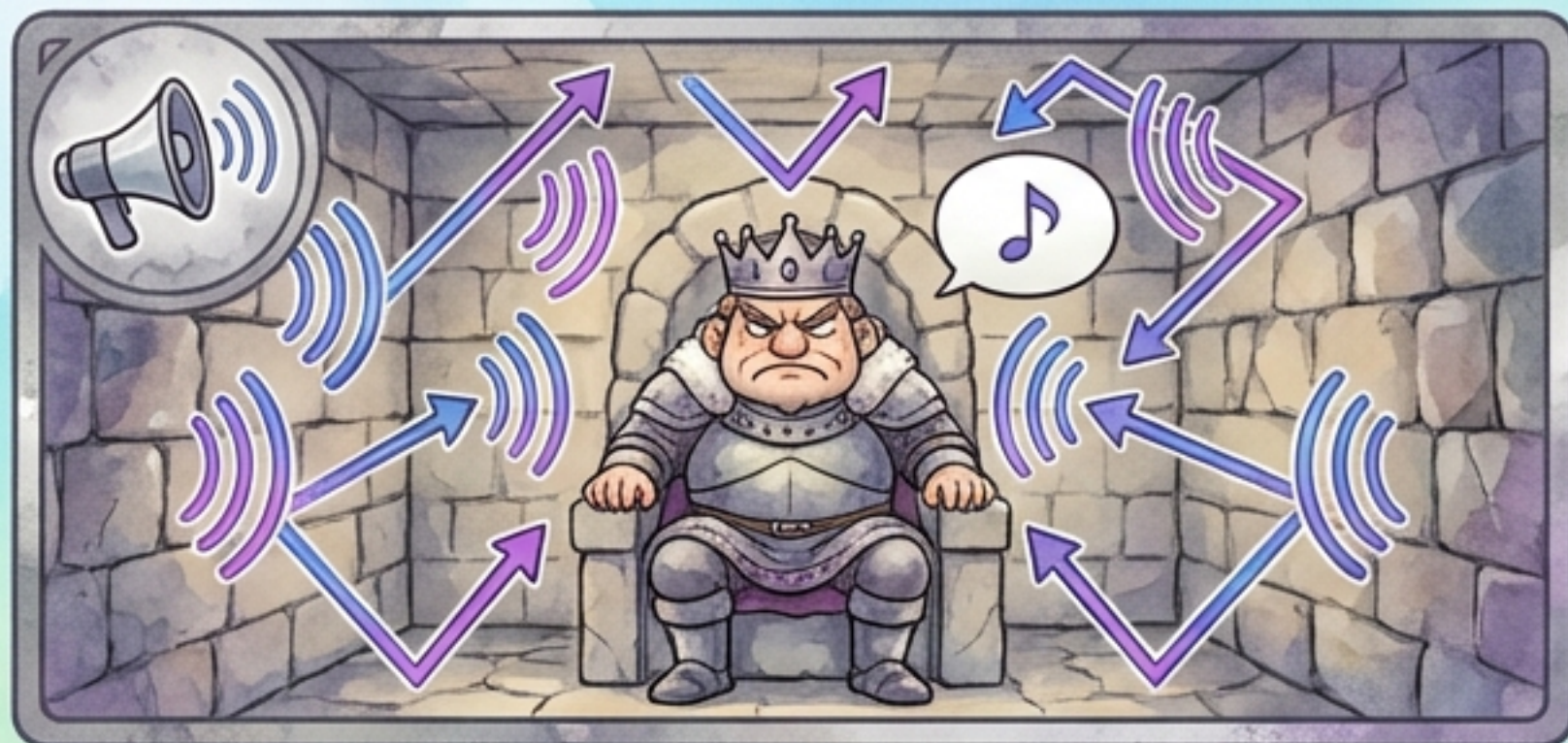


三人の王さまと、くらやみの手紙

「本当かな？」のちからについて



性格のちがう、4人の王さまたち



ひびきの王さま：同じ声しか聞かない（石の部屋）



ごきげんの王さま：みんなに合わせる（イエスマンの家来）



かぜの王さま：いろんな声を聞く（開いた窓）



くらやみの王さま：うそを作る（顔は見えない）

顔の見えない「くらやみの王さま」のたくらみ



- **手紙の正体:**
「となりの国が攻めてくる！」
という、まったくの「うそ」の絵。
- **なぜ送ったの?:**
みんなをだまして、
パニックにさせるため。
- **ねらった相手:**
自分のまわりを「同じ声」だけで
いっぱいにしていく人たち。

手紙が届いた！三人の王さまはどう動いた？



ひびきの王さま：「ほらみろ！やっぱりだ！」
→ 思い込みが強くなり、疑わない。



ごきげんの王さま：「はい！すぐにげましょう！」
→ まわりの空気に合わせて、考えずに広める。



かぜの王さま：「…本当かな？」
→ いったん立ち止まり、窓の外を見る。

なぜ、二人の王さまはだまされてしまったのか？

ひびきの王さま



ひびきのへや（環境の罠）：
反対の意見が入らないから、
「みんなそう言っている」と錯覚してしまう。

ごきげんのへやさま



ごきげんのへや（関係の罠）：
「空気に合わせる」ことばかり考えて、
だれも「それは違う」と言えなくなる。

「うそ」は、
みんなが合わせることで
どんどん大きくなる！

かぜの王さまが使った「魔法の3ステップ」



1. 立ち止まる：
「…本当かな？」と疑う
(違和感センサーを
はたらかせる)。



2. 聞きに行く：
窓を開けて、いろんな
声(ちがう意見)
をあえて入れる。



3. 確かめる：
自分の目で見て、
本当の答えを出す。

わたしたちのスマホにも「くらやみの手紙」は届く



- 現実の世界でも、SNSや動画を使って「くらやみの手紙（フェイクニュース・うそ）」が流れてきます。
- だれが作ったの？：AIを使って、本物そっくりの「うそ（ディープフェイク）」をかんとんに作れる時代です。
- ねらいは同じ：あなたを「ひびきのへや」に閉じ込めて、パニックにさせること。

うそにだまされないための「3つの約束」

かぜの王さまのように「確認」するには、どうすればいい？



1. 別のところで調べる：
ひとつの動画や投稿だけでなく、
本やニュースでも調べてみる。



2. だれが言っているか見る：
発信元（だれが書いたか）は
信用できる人か確認する。



3. おとなに相談する：
迷ったとき、こわいときは、
ひとりで広めずに先生や親に聞く。

みんなで話し合ってみよう!



ヒント1:
ひびきの王さま
(すぐ信じる)に
ならないためには?

「もしあなたのスマホに、
ビックリするような
こわいメッセージが届いたら、
まずどうする？」



ヒント2:
ごきげんの王さま
(すぐ広める)に
ならないためには?

グループで話し合って、自分たちなりの「かぜの窓」の開け方を考えよう。

あなたのまわりに、「ひびきのへや」はありませんか？
それとも、「かぜのまど」を開けていますか？

「本当かな？」

—— その一言が、
魔法の言葉です。

